



平成 28 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
 代表者名 代表取締役 上田 満弘
 (コード番号 3021 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役
 コーポレートセンター長
 兼財務経理部長
 菅谷 泰久
 (電話番号 03-5730-1442)

平成28年5月期 第2四半期の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月15日に公表した平成28年5月期第2四半期（累計）の連結業績予想値と実績値との差異を下記の通りお知らせします。

記

1. 平成28年5月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値と実績値との差異 (平成27年6月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,390	110	114	76	14.81
今回修正予想 (B)	2,160	30	41	36	7.06
増減額 (B-A)	△229	△79	△73	△40	—
増減率 (%)	△9.6	△72.0	△63.8	△52.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年5月期第2四半期)	2,236	151	161	105	20.34

2. 差異の理由

前期より、2014年4月のWindows X Pサポート終了による入れ替え需要の反動減に備え、顧客拡大・営業強化策の実施、成長する中古モバイル市場への取り組み強化等を進めてまいりました。

しかしながら、XPサポート終了の反動減が想定以上に大きかったことに加え、円安による新品パソコンの価格の高止まり等も重なり、国内の2015年4月～9月のビジネス系新品パソコン出荷台数は、前年同期比で33.4%減（※）となり、ビジネス系の使用済み情報機器の排出台数も大幅に減少いたしました。

（※出典：MM総研「2015年度上期国内パソコン出荷概要」）

その結果、各種施策の効果は発揮できたものの、当社の取り扱い台数が想定より減少したことから、売上高は予想を229百万円（前回発表予想比9.6%減）下回りました。また、販売費及び一般管理費等のコストは計画の範囲内でしたが、売上高の減少、仕入れ競争の激化に

よる売上総利益率の低下により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益もそれぞれ予想を下回ったものです。

なお、2015年11月から12月にかけては、前年同月を上回る回収台数を確保しており、使用済み情報機器の排出市場は回復基調にあると思われます。これに加え、顧客拡大策・営業強化策の継続実施と効果の拡大、IT機器レンタル強化や新たなサービス展開を進めること等から、現時点では通期業績予想は変更しておりません。

以上